新日軽

説明書番号 ME-1799
改ー5

スリットラインシリーズ
ウォールスタイル持ち出しタイプ（たて格子）施工説明書

●この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。
商品を正しく安全に組立・施工していただくために、本説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
●本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
施工にあたっては必ずお守りください。
●施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
●本説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

施工時の注意事項

施工にあたっては次の点をご注意ください。

●モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。
●モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
●アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
●腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
●モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
●施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
●輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。
●改造・変更をしないでください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。	❗	「必ず行っていただくこと」を示しています。

⚠注意

●本体に乗ったり、揺すったりしないでください。
●雨具・洗濯物・布団等を載せないでください。
●各ボルト・ビス類は、確実に締付けてください。
●無理にボルト・ビスを締付けないでください。破損の原因となります。

ラミネート製品のお手入れ方法について

●汚れ、ホコリが付着した場合には、軽く水で流すかテープ等の接着面でたたくようにしてください。
●年に数回の水洗いと、空ぶきだけでも効果的です。ただし、工業地帯や海岸の近くなどでは、状況によりお手入れの回数を増やしてください。
●汚れが軽い場合　：やわらかい布かスポンジで水ぶきした後に空ぶきしてください。
●汚れが目立つ場合：中性洗剤を薄めた液で汚れを落し洗剤が残らないように水洗いしてから 空ぶきしてください。

もくじ

梱包明細 2
納まり図 3
1．格子ユニットの組立て 5
2．胴縁の取付け 6
　2－1単体納まりの場合 6
　2－2連結納まりの場合 7
　2－3胴縁の取付け 8
3．格子ユニットの取付け 9
　3－1格子ユニットの取付け①（上面からビス止め・標準） 9
　3－2格子ユニットの取付け②（正面からビス止め・オプション） 9
4．本体の切詰め 11
　4－1胴縁の切断（※連結納まりの場合） 11
　4－2本体の切詰め 11
施工工事店様、販売店様へのお願い 12

梱包明細

●施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いか確認してください。
●施工説明書に記載している部材・部品 (ビス含) 以外は使用しないでください。

梱包名称		梱包明細　　表内の（ ）は個数を表しています。
縦格子部材	3本入り	縦格子（3）
	2本入り	縦格子（2）
縦格子胴縁アタッチ	18本入り	胴縁アタッチメント [L=363.5]（18）・壁付面外胴縁セット [溝カバー（11）・φ 4 × 12 トラスタッピン 3 種（58[10]※1）φ 4 × 12 トラスタッピン 3 種（26[10]※1）・ φ 4 × 16 セルフドリリングビス（26[2]※1）]
	15本入り	胴縁アタッチメント [L=363.5]（15）・壁付面外胴縁セット [溝カバー（11）・φ 4 × 12 トラスタッピン 3 種（50[10]※1）φ 4 × 12 トラスタッピン 3 種（22[10]※1）・ φ 4 × 16 セルフドリリングビス（22[2]※1）]
	12本入り	胴縁アタッチメント [L=363.5]（12）・壁付面外胴縁セット [溝カバー（7）φ 4 × 12 トラスタッピン 3 種（58[10]※1）・φ 4 × 12 トラスタッピン 3 種（26[2]※1）]
	10本入り	胴縁アタッチメント [L=363.5]（10）・壁付面外胴縁セット [溝カバー（7）φ 4 × 12 トラスタッピン 3 種（50[10]※1）・φ 4 × 12 トラスタッピン 3 種（22[2]※1）]
細縦格子胴縁アタッチ	12本入り	胴縁アタッチメント [L=363.5]（12）・壁付面外胴縁セット [溝カバー（7）φ 4 × 12 トラスタッピン 3 種（106[10]※1）・φ 4 × 12 トラスタッピン 3 種（26[2]※1）]
	10本入り	胴縁アタッチメント [L=363.5]（10）・壁付面外胴縁セット [溝カバー（7）φ 4 × 12 トラスタッピン 3 種（90[10]※1）・φ 4 × 12 トラスタッピン 3 種（22[2]※1）]
胴縁セット		持出用胴縁 [L=2184]（2）

※1：[　] 内は予備数を示しています。

●別売品

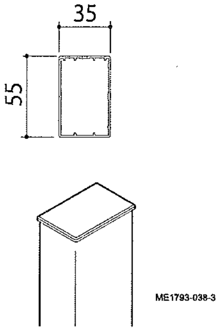
梱包名称		梱包明細　　表内の（ ）は個数を表しています。
単体部品セット		壁付持ち出し金具（左・右各 2）・胴縁固定スリーブ（4）・縦格子躯体固定金具（4）M8×20セムスボルト(16)・ φ 6×90コーチスクリュー(8)・M6用平ワッシャー(8)・施工説明書[ME-1799](1)
単体部品セット（H3000用）		壁付持ち出し金具（左・右各 3）・胴縁固定スリーブ（6）・縦格子躯体固定金具（6）M8×20セムスボルト(24)・ φ 6×90コーチスクリュー(12)・M6用平ワッシャー(12)・施工説明書[ME-1799](1)
1段連結部品セット		壁付持ち出し金具（左・右各 2）・胴縁固定スリーブ（4）・縦格子躯体固定金具 [W 連結]（2）M8 × 20 セムスボルト（16）・φ 6 × 90 コーチスクリュー（4）・M6 用平ワッシャー（4）
1段連結部品セット（H3000用）		壁付持ち出し金具（左・右各 3）・胴縁固定スリーブ（6）・縦格子躯体固定金具 [W 連結]（3）M8 × 20 セムスボルト（24）・φ 6 × 90 コーチスクリュー（6）・M6 用平ワッシャー（6）
2段連結中間部品セット		壁付持ち出し金具（左・右各 2）・胴縁固定スリーブ（4）・縦格子躯体固定金具 [縦横連結]（1）M8 × 20 セムスボルト（16）・φ 6 × 90 コーチスクリュー（2）・M6 用平ワッシャー（2）
2段連結端部部品セット		壁付持ち出し金具（左・右各 2）・胴縁固定スリーブ（4）・縦格子躯体固定金具 [縦連結]（2）M8 × 20 セムスボルト（16）・φ 6 × 90 コーチスクリュー（4※2）・M6 用平ワッシャー（4）
胴縁エンドキャップ（面外専用）		面格子胴縁キャップ（4）・φ 4 × 10 トラスタッピン 3 種（8）
胴縁エンドキャップ（面外専用）（H3000用）		面格子胴縁キャップ（6）・φ 4 × 10 トラスタッピン 3 種（12）
プラグボルトセット	4本入り	M6 プラグボルトセット（4※3）

※2：躯体が木造の場合に使用します。※3：躯体が RC 造の場合に使用します。

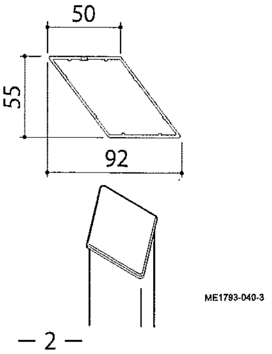
格子の種類

●本商品には、下記の 4 種類の格子を取付けることができます。

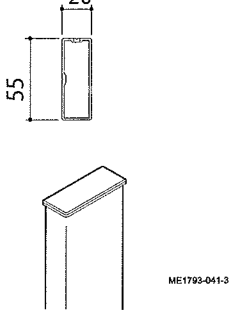
● 35 × 55 格子
※格子ピッチ：91



●ルーバー格子
※格子ピッチ：91



●細格子
※格子ピッチ：45.5



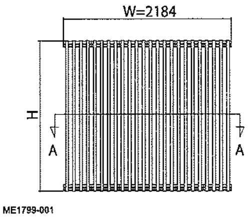
納まり図

●施工前に必ず確認してください。

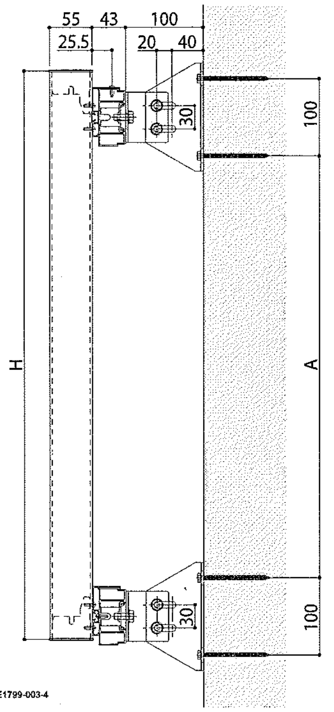
ウォールスタイル持ち出しタイプ・単体納まり

※躯体の材質によって、取付部品が異なります。
※本図は、躯体が木造の場合を示しています。

●基本納まり図（35 × 55 格子）の例



●縦断面図（35 × 55 格子）の例



●寸法一覧表

(mm)

呼称サイズ	H	A
H500	495	305
H1200	1145	955
H1500	1445	1255
H2000	1945	1755
H2500	2445	2255

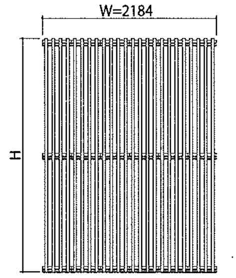
※ H500 は 35 × 55 格子のみ

33×55格子H3000は胴縁が3本になります。
納まりは下図を参照してください。

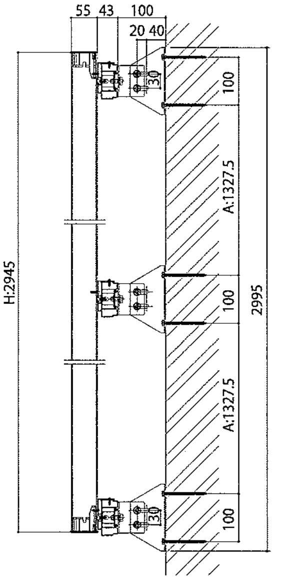
●寸法一覧表

呼称サイズ	H	A
H3000	2945	1327.5

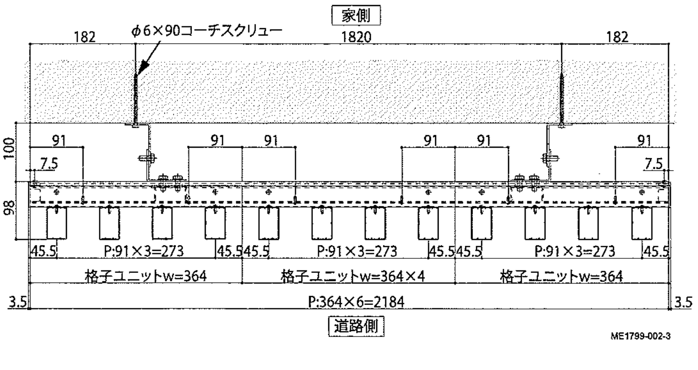
●基本納まり図（35 × 55 格子H3000）の例



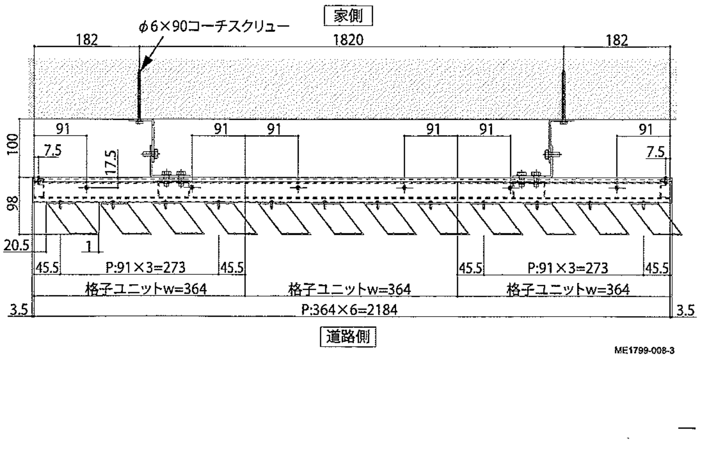
●縦断面図（35 × 55 格子H3000）の例



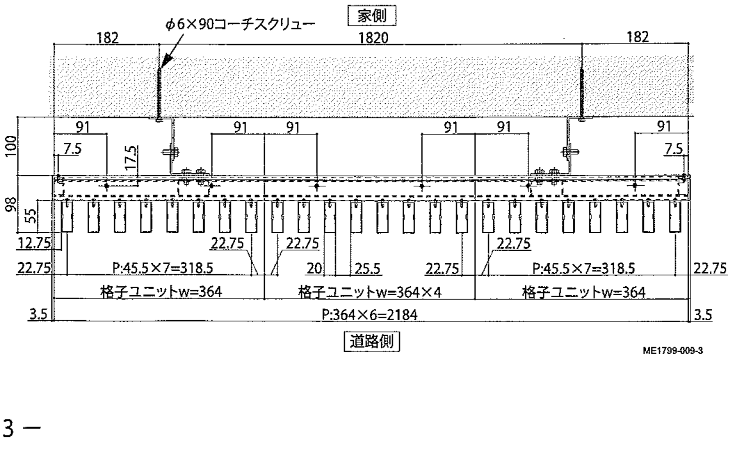
●A－A横断面図（35 × 55 格子）



●A－A横断面図（ルーバー格子）



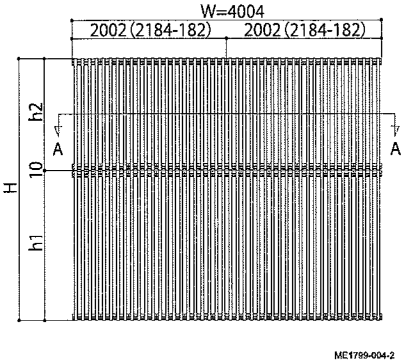
●A－A横断面図（細格子）



ウォールスタイル持ち出しタイプ・連結納まり

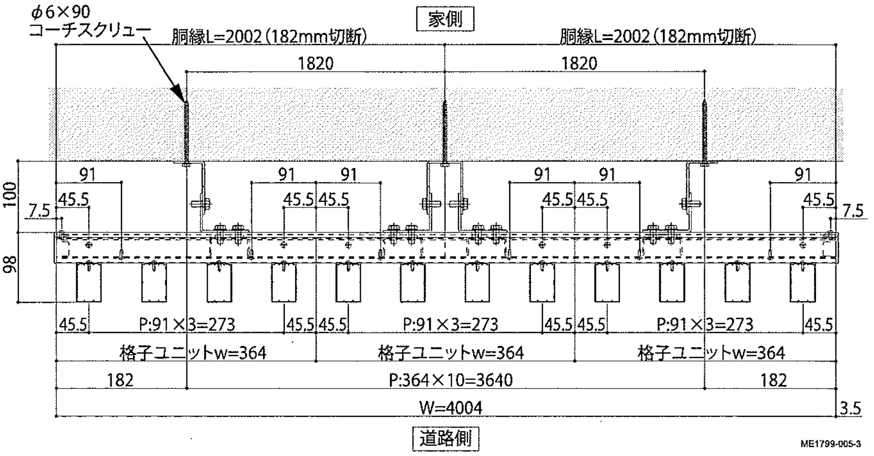
※躯体の材質によって、取付部品が異なります。
※本図は、躯体が木造の場合を示しています。

●基本納まり図
（35 × 55 格子）の例

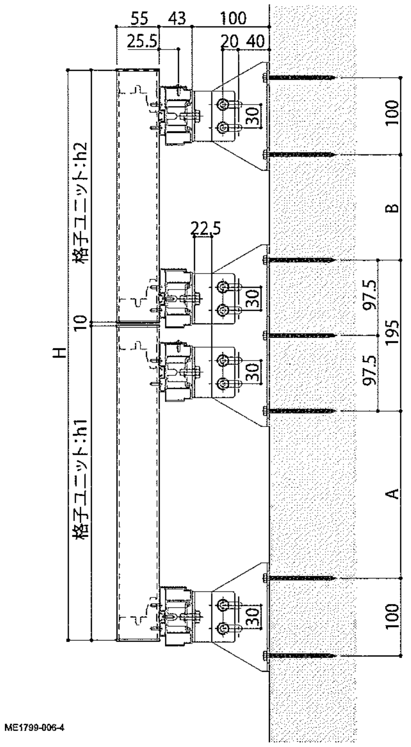


35×55格子H3000は単体納まりになります。納まりは前頁を参照してください。

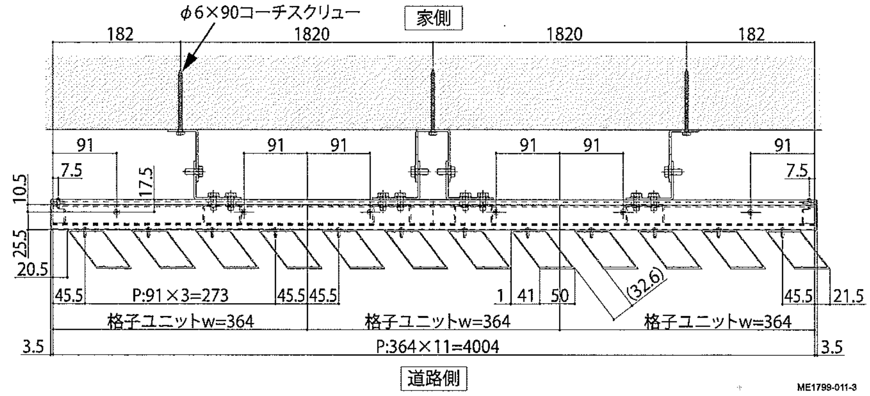
●A－A横断面図（35 × 55 格子）



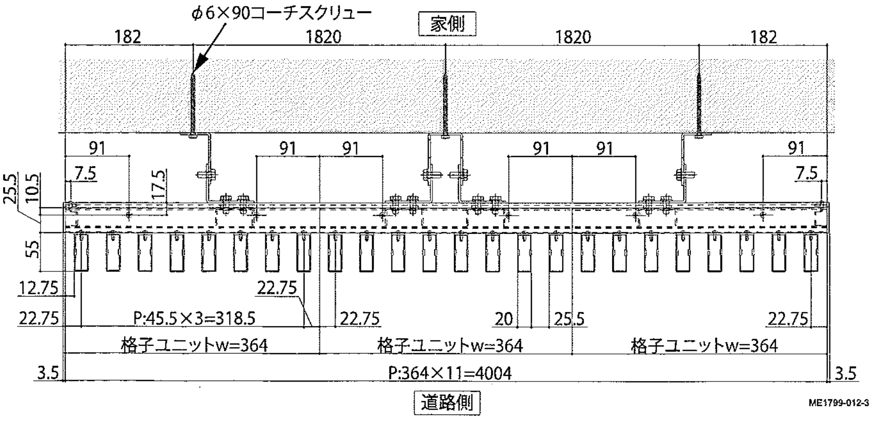
●縦断面図（35 × 55 格子）の例



●A－A横断面図（ルーバー格子）



●A－A横断面図（細格子）



●寸法一覧表

(mm)

呼称サイズ	H	h1	h2
H3000	2900	1445	1445
H3500	3400	1945	1445
H4000	3900	1945	1945

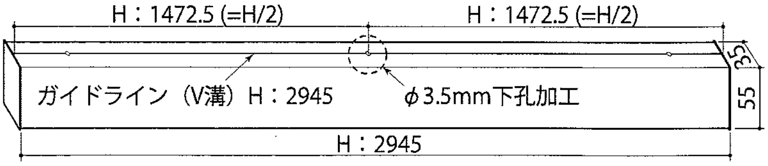
(mm)

呼称サイズ	A	B
H3000	1255	1255
H3500	1755	1255
H4000	1755	1755

※胴縁の連結側端部を 182mm 切断し、切断面を突き合わせてください。

1 格子ユニットの組立て

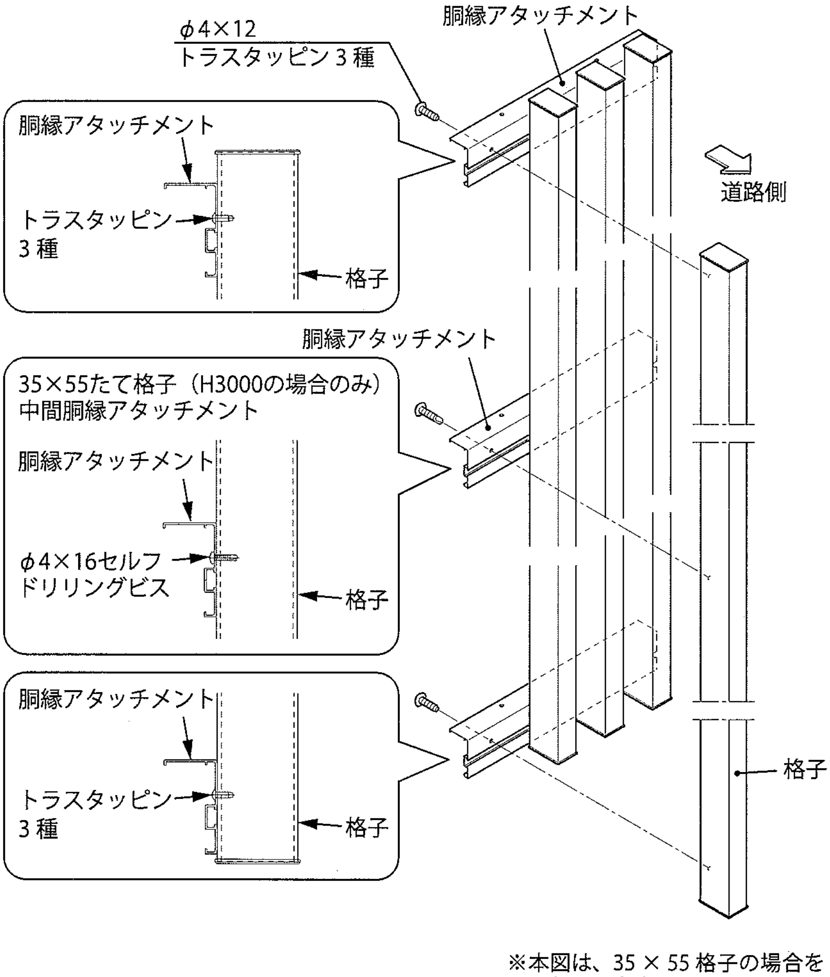
35×55たて格子H3000の場合、胴縁が3本になります。
格子の中間（ガイドライン上）にφ3.5mmの下孔をあけてください。
下孔加工した格子の中間胴縁アタッチメントはφ4×16セルフドリリングビスで止めてください。



●胴縁アタッチメント２本・格子（格子１本につき格子キャップ２ヶ）で１ユニットとなります。
●格子は種類によって、取付ける本数が異なります。下表で確認してください。

①胴縁アタッチメントに、格子を取付けてください。

●「壁付面外胴縁セット」に同梱されているφ４×12トラスタッピン３種を使用してください。
●ビスが必ず右図の位置となるように組立ててください。
※ビス位置が違うと格子ユニットが組立てられない場合があります。

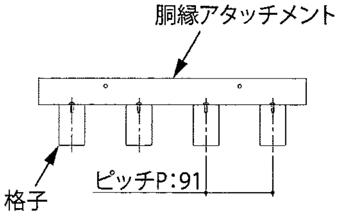


※本図は、35 × 55 格子の場合を示しています。

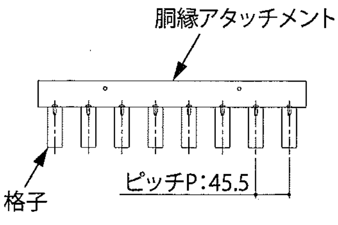
●寸法一覧表

格子の種類	格子ピッチ P(mm)	格子本数（1ユニット）
35 × 55 格子	91	4
ルーバー格子		
細格子	45.5	8

● 35 × 55 格子・ルーバー格子



●細格子



35×55たて格子（H3000）の場合、中間胴縁アタッチメントに格子をφ4×16セルフドリリングビスで取付けてください。上・下胴縁と固定するビスが違いますので、ご注意ください。

2 胴縁の取付け

●本締めは、全体の調整後に行ってください。

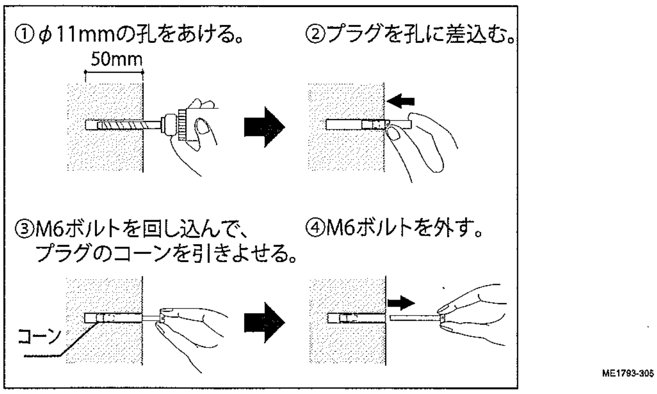
躯体側の施工について

●躯体の材質によって、取付部品が異なります。

> ●躯体の材質
> ・RC 造　：プラグボルトを使用
> ・木造　：コーチスクリューを使用

●プラグボルトの施工手順（躯体が RC 造の場合）

> 壁面がタイル仕上げの場合は、専用のドリルを使用してください。
> ※使用しないと、壁面にひび割れが起こる原因となります。



2－1 単体納まりの場合

①「納まり図」および右表を参照し、寸法と位置を確認してください。

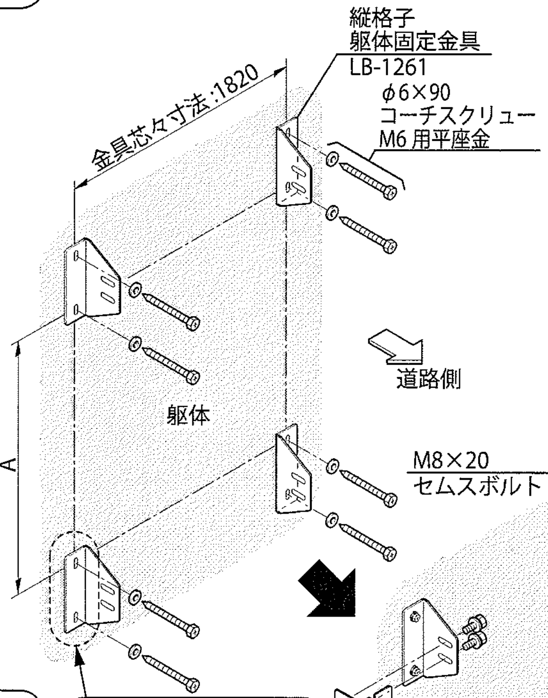
②躯体が RC 造の場合は、躯体にプラグボルトを取付けてください。

> プラグボルトの施工手順については、上記の「躯体側の施工について」を参照してください。

③縦格子躯体固定金具を躯体に取付けてください。

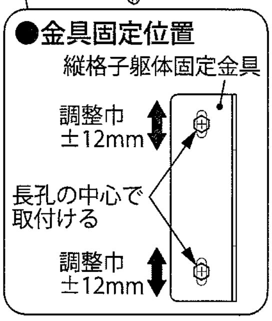
④壁付持ち出し金具を躯体固定金具に仮止めしてください。

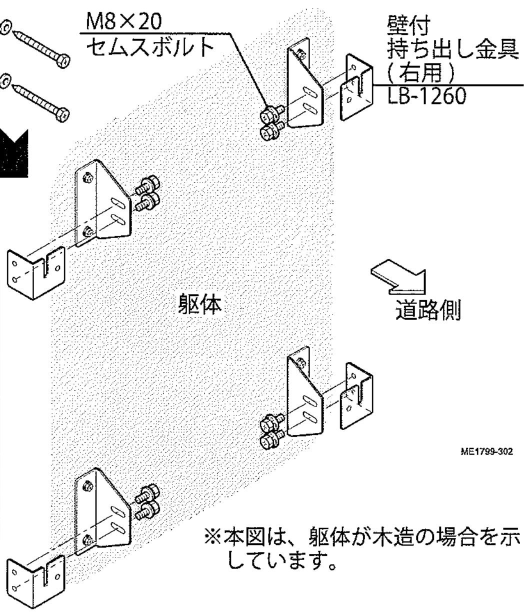
> 壁付持ち出し金具には、左・右の区別があります。



●寸法一覧表 (mm)

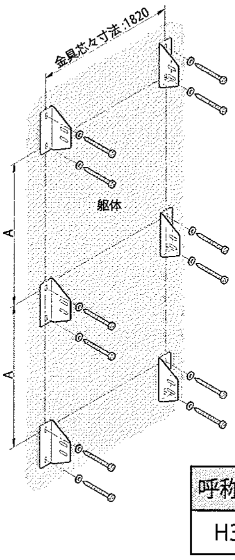
呼称サイズ	A
H500	305
H1200	955
H1500	1255
H2000	1755
H2500	2255





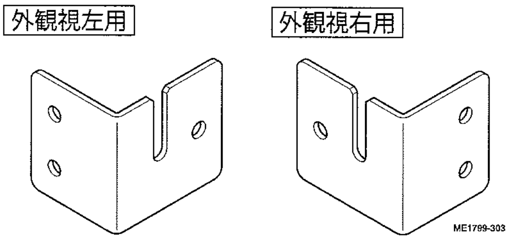
※本図は、躯体が木造の場合を示しています。

> **33×35たて格子（H3000の場合のみ）縦格子躯体固定金具及び壁付持ち出し金具は3セット取付けてください。**



呼称サイズ	H	A
H3000	2945	1327.5

●壁付持ち出し金具



2－2 連結納まりの場合

①「納まり図」および下表を参照し、寸法と位置を確認してください。

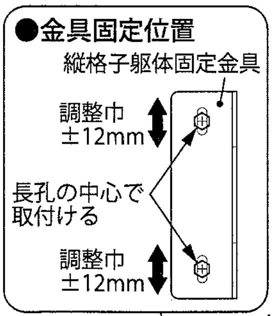
●寸法一覧表 (mm)

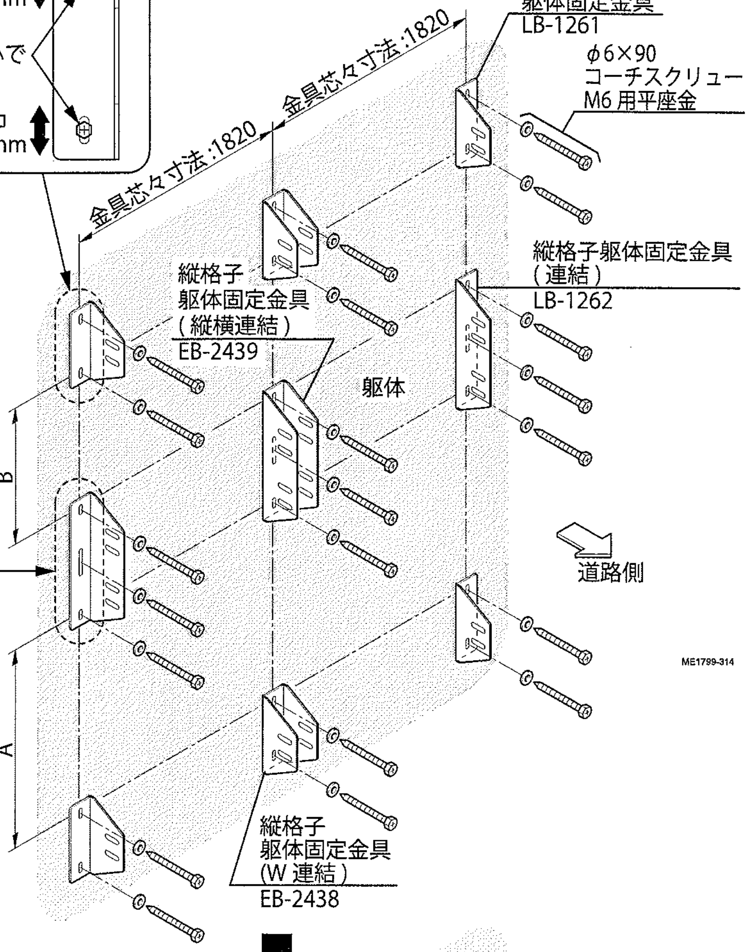
呼称サイズ	A	B
H3000	2255	305
H3500	1755	1255
H4000	1755	1755

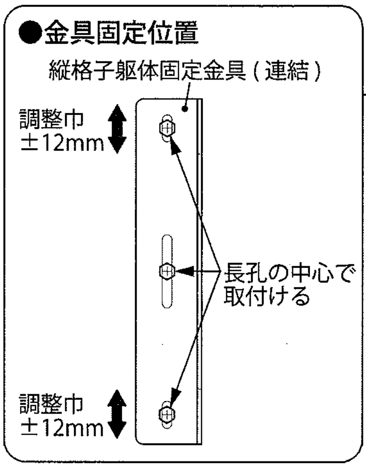
※35×55たて格子H3000は単体納まりになります。

②躯体が RC 造の場合は、躯体にプラグボルトを取付けてください。

> **プラグボルトの施工手順については、前ページの「躯体側の施工について」を参照してください。**

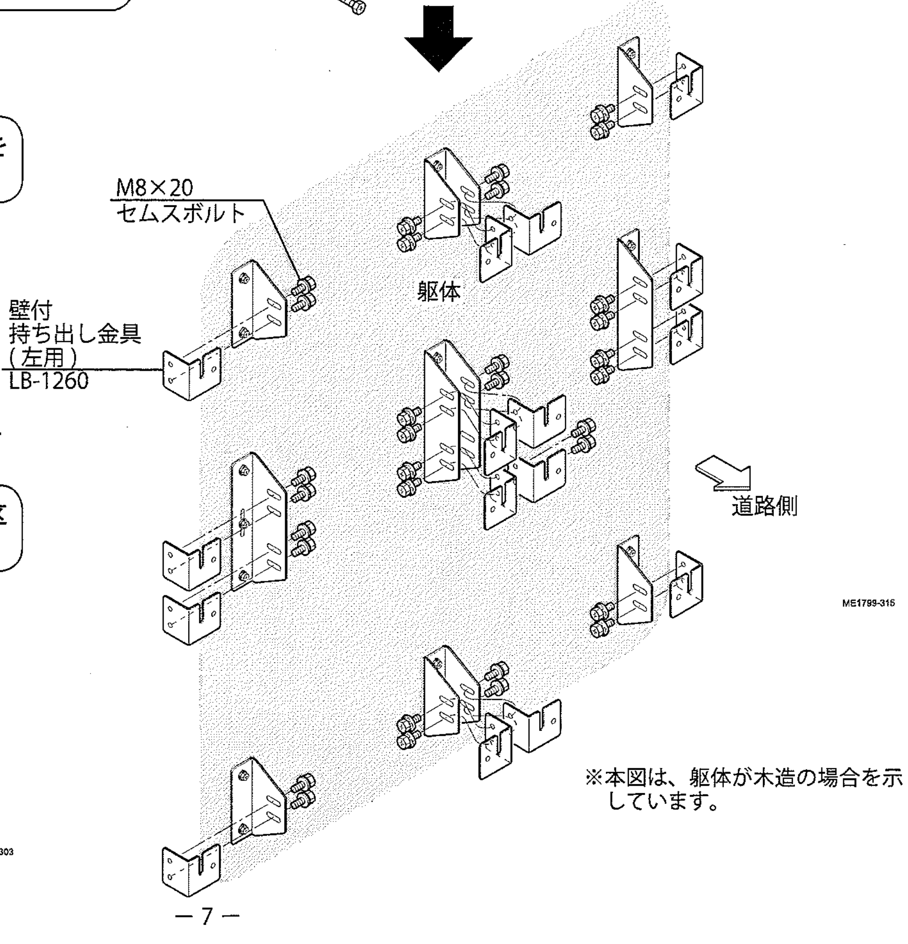






③縦格子躯体固定金具を躯体に取付けてください。

> **右図を参照して金具の種類と位置を確認してください。**

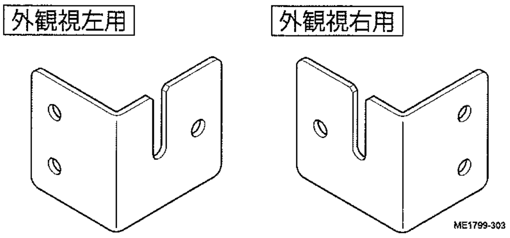


※本図は、躯体が木造の場合を示しています。

④壁付持ち出し金具を躯体固定金具に仮止めしてください。

> **壁付持ち出し金具には、左・右の区別があります。**

●壁付持ち出し金具



2－3 胴縁の取付け

連結納まりの場合は、「4-1. 胴縁の切断」を参照し、切断側の断面を突き合わせて取付けてください。

①胴縁固定スリーブの片側の取付孔に、ボルトを仮止めしてください。

②胴縁固定スリーブを胴縁の端部より差し込み、壁付持ち出し金具の位置までスライドさせてください。

仮止めしたボルトが、胴縁の端部側となる向きで挿入してください。
※仮止めしたボルトは、後工程で壁付持ち出し金具の切欠きに差し込んで締付けます。

仮止めしたボルトは、胴縁固定スリーブをスライドさせるときの取っ手として使用すると便利です。

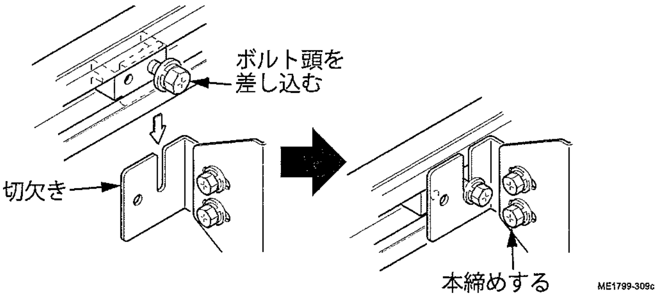
③面格子胴縁キャップを胴縁の両端部に取付けてください。

必ず、先に面格子胴縁キャップを取付けてください。
※胴縁を取付けた後は、キャップを取付けることができません。

④上・下胴縁の、左右出巾を合わせてください。

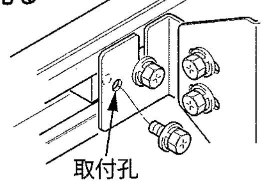
⑤ボルト頭を壁付持ち出し金具の切欠きに差し込んで、本締めしてください。

●Aから見る



⑥壁付持ち出し金具の残りの取付孔をボルトで固定してください。

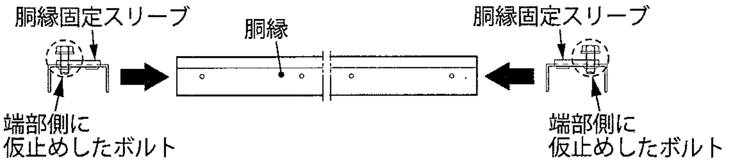
●Bから見る

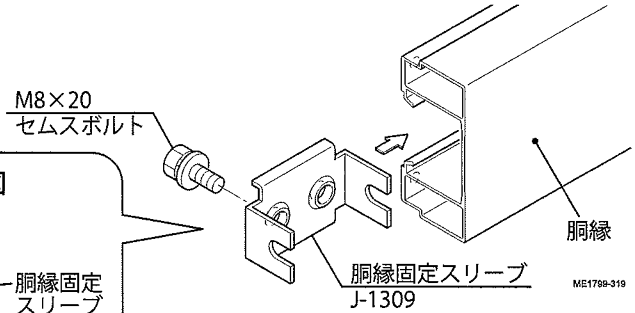


⑦全体の調整後、躯体固定金具と壁付持ち出し金具のボルトを本締めしてください。

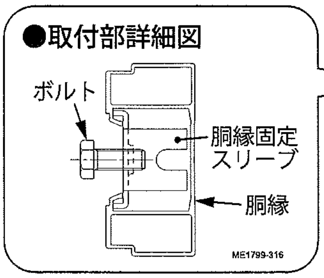
胴縁の水平レベルを確実に合わせてください。
※格子ユニットが取付けられなかったり、がたつく恐れがあります。

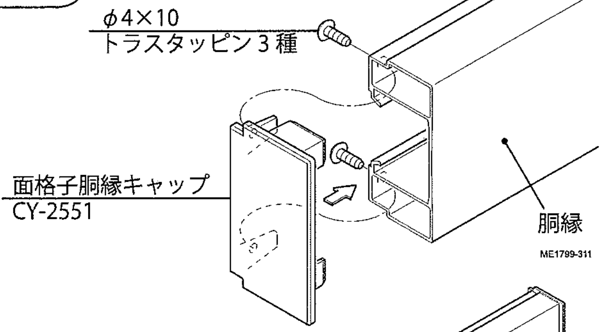
●胴縁固定スリーブ挿入方向

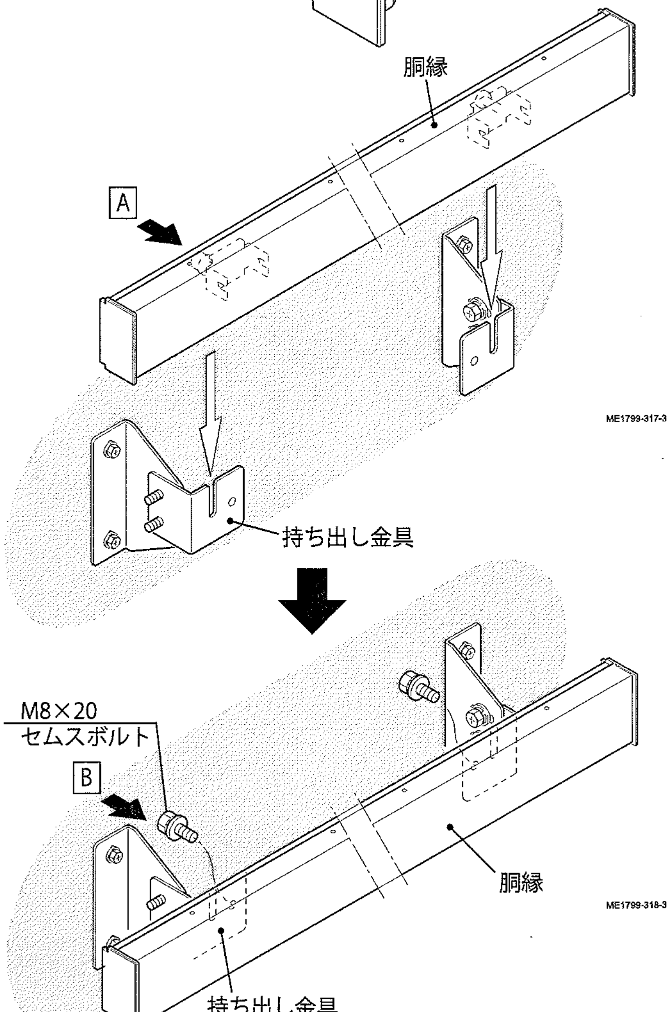




●取付部詳細図







3 格子ユニットの取付け

●ここでは単体納まりの場合を示しています。
●連結納まりの場合も、同様の手順で行ってください。

3－1 格子ユニットの取付け①（上面からビス止め・標準）

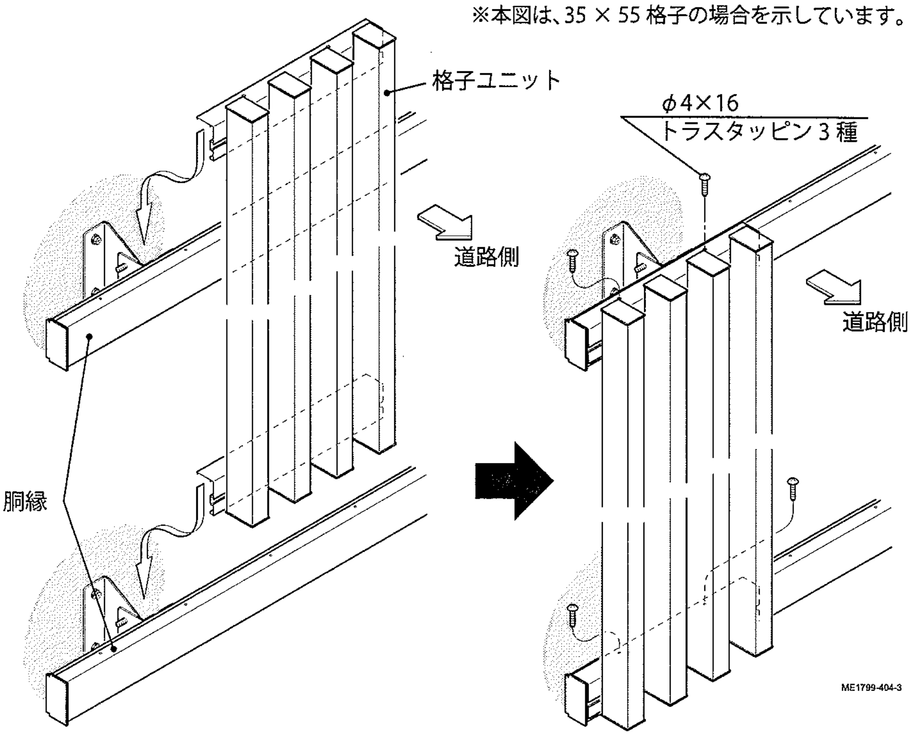
必ず、端から順番に取付けてください。
※端から順番に取付けないと、下側のビスを止めるときに手が入らなくなります。

①胴縁に格子ユニットを載せてください。

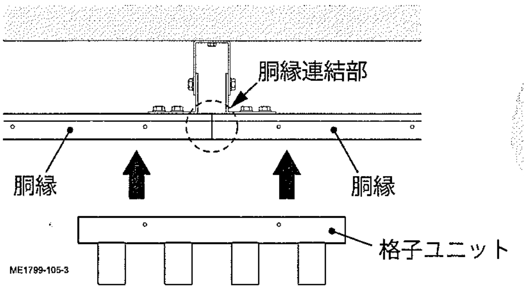
②胴縁アタッチメントと胴縁の孔を合わせて、格子ユニットをビス止めしてください。

連結納まりの場合は、中間部となる格子ユニットの中央を胴縁連結部に配置してください。

※本図は、35 × 55 格子の場合を示しています。



●連結納まり（取付部詳細図）



3－2 格子ユニットの取付け②（正面からビス止め・オプション）

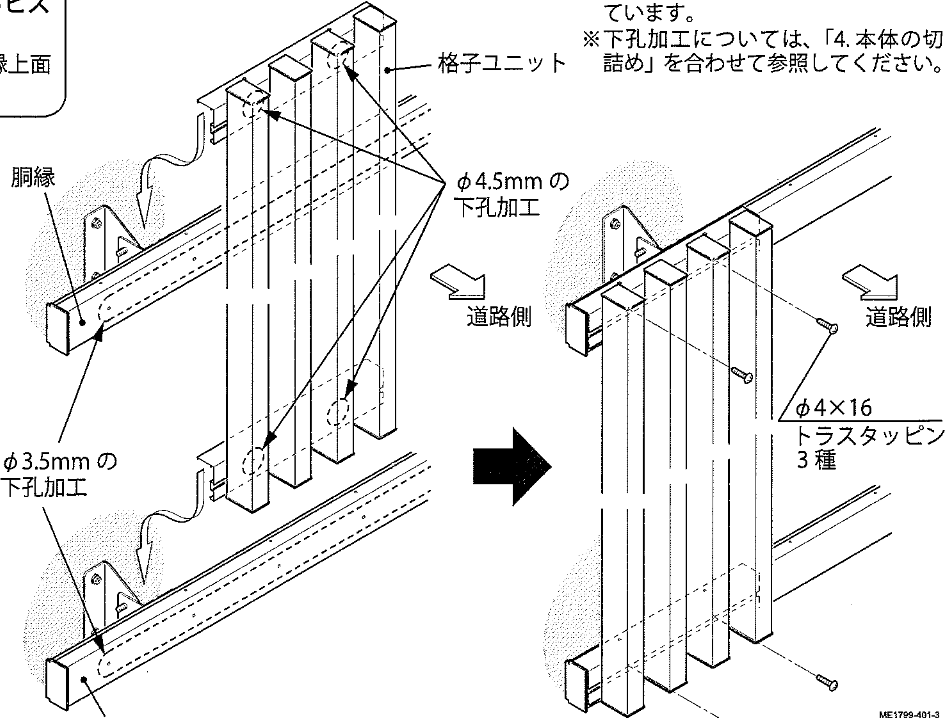
現場の状況に応じて、正面からビス止めすることができます。
※正面から施工する場合は、胴縁上面の孔は使用しません。

①梁に格子ユニットを載せてください。

②胴縁アタッチメントと胴縁に下孔をあけてください。

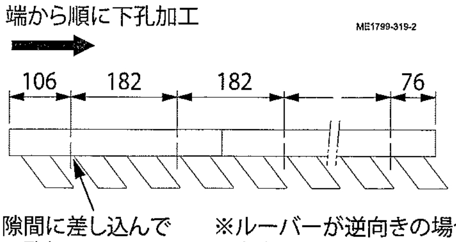
③格子ユニットをビス止めしてください。

※本図は、35 × 55 格子の場合を示しています。
※下孔加工については、「4. 本体の切詰め」を合わせて参照してください。



ルーバー格子の場合

●格子の隙間に差し込んで下孔をあけてください。
●端から順に、下図の寸法で下孔をあけてください。

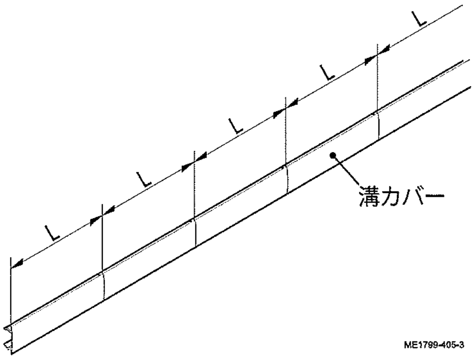


隙間に差し込んで下孔加工

※ルーバーが逆向きの場合は左右対称になります。

格子ユニットの取付け

③下表を参照して、溝カバーを切断してください。



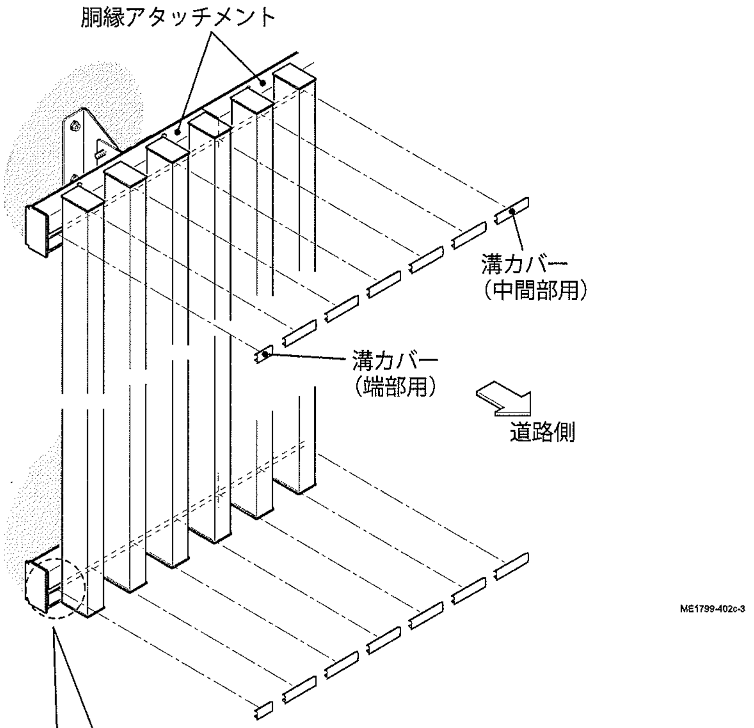
> 万能ばさみで簡単に切ることができます。

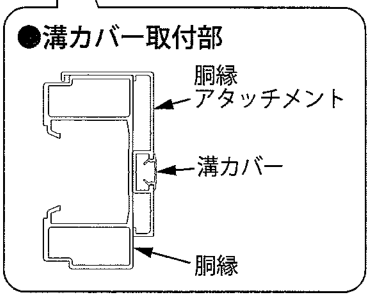
●溝カバー切断寸法表

(mm)

格子の種類	端部用	中間部用
35 × 55 格子	27.3	55.5
ルーバー格子	取付けない	取付けない
細格子	12	25

④胴縁アタッチメントの溝に溝カバーをはめ込んでください。





※本図は、35 × 55 格子の場合を示しています。

4 本体の切詰め

●ここでは胴縁アタッチメント（標準格子）の場合を示しています。
●胴縁アタッチメントも同寸法で切詰めてください。

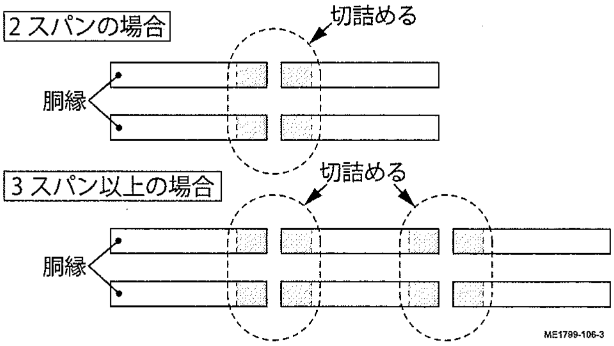
正面から施工する場合は、胴縁および胴縁アタッチメントに下孔加工を行ってください。

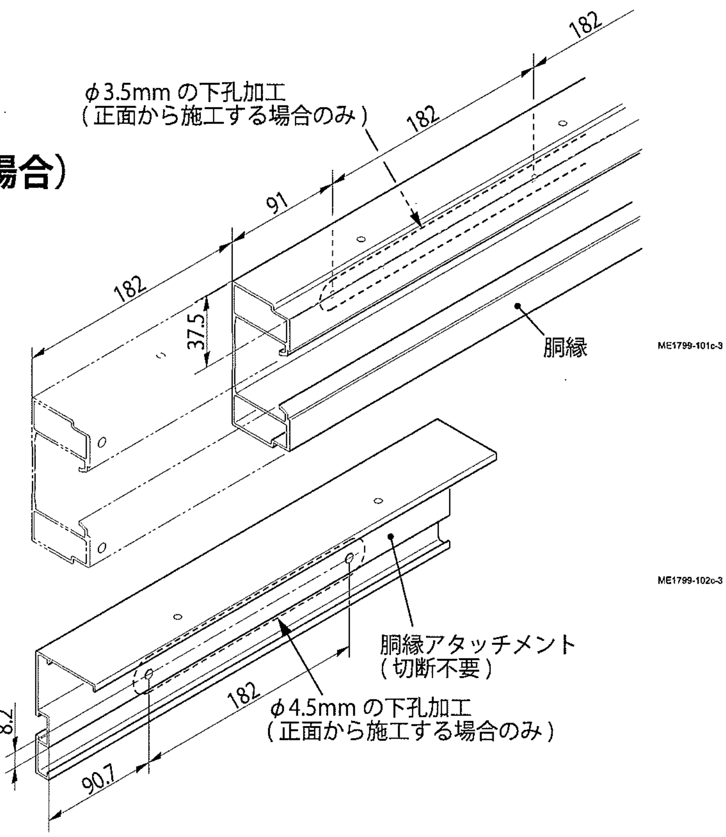
4－1 胴縁の切断（※連結納まりの場合）

連結納まりの場合は、必ず、胴縁を182mm 切断してください。

①胴縁を、連結側から 182mm 切断してください。

●切断部詳細図





連結納まりの場合は、胴縁アタッチメントの切詰めは不要です。

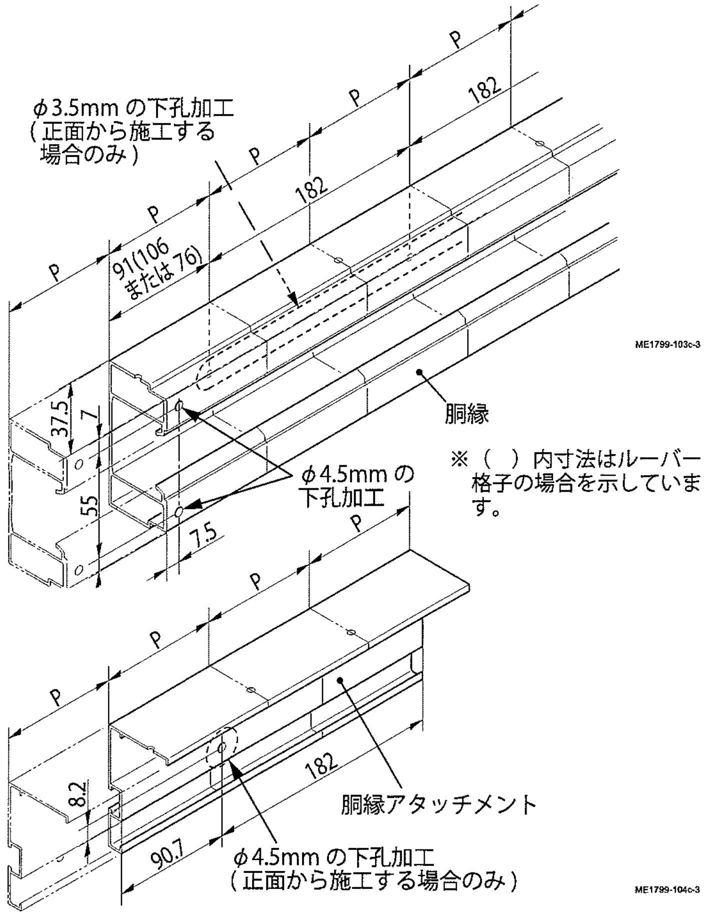
4－2 本体の切詰め

●現場寸法に合わせ、切詰めを行う場合に参照してください。
●指定のピッチでのみ切詰めが可能です。

①胴縁および胴縁アタッチメントを、指定のピッチで切断してください。

本商品は指定の切断寸法で切詰めてください。
※指定の位置で切断しないと、格子が取付けられなかったり、がたつく恐れがあります。

切詰めピッチ P
・細格子：45.5mm
・上記以外の格子：91mm



施工工事店様、販売店様へのお願い

●「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
●本説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

施　工　完　了　日	年　　　月　　　日
施　工　工　事　店	TEL（　　　）　　-
販　　売　　店	TEL（　　　）　　-

商品へのお問合せは･･･

この商品についてのご質問やご相談は下記の窓口にお問い合せください。

お客様相談室

0120-37-2534